

2. 福岡市における乾性沈着成分と黄砂，煙霧との関係（第2報）

環境科学課 宮地 夏海・木下 誠

第37回九州衛生環境技術協議会

福岡市では全環研酸性雨全国調査の湿性沈着に合わせて，乾性沈着について継続的に調査しており，乾性沈着のイオン成分組成と黄砂，煙霧との関連およびエアロゾル成分高濃度時について解析を行った。

エアロゾル総イオン濃度の高濃度現象と煙霧が特に関係があり，ガス総イオン濃度では突出した高濃度現象が少ないことがわかった。総イオン濃度で区分したエアロゾルおよびガスの成分比率を解析したところ，黄砂時にエアロゾル成分の非海塩性 Ca^{2+} ， NO_3^- および Mg^{2+} ，ガス成分の NH_3 ，煙霧時にガス成分の SO_2 比率が高い傾向がみられ，エアロゾル・ガスともに黄砂・煙霧の有無によりイオン成分比率に変動があった。また，後方流跡線と硫酸エアロゾル分布図を用いてエアロゾル高濃度時の解析を行った結果，大陸方面からの影響が示唆された。